

User Guide

GD01

取扱説明書



- 本書内で使用されている表示画面、イラストなどは説明用に作成されたものです。
- 本書の内容に関して、一部でも無断転載することは禁じられています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、お問い合わせ先にご連絡ください。

Windows®、Microsoft®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。

Mac、Macintoshは、米国Apple Inc.の商標または登録商標です。

Hayesは、米国Hayes Micro Computer Products.Inc.の商標または登録商標です。

AdobeおよびAdobe Readerは、米国Adobe Systems Incorporatedの商標または登録商標です。



、HUAWEI は、中国Huawei Technologies Co., Ltd.の商標または登録商標です。

その他、会社名、商品名および製品名などは、一般に各社の商標または登録商標です。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理するようお願いいたします。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客さまが不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

この度は、EMOBILE GD01(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。  
不明な点がございましたらお問い合わせ先にご連絡ください。

## 動作環境(対応OS)

本製品の動作環境は下記のとおりです。

- OS:
  - Windows XP Home Edition Service Pack 3以降
  - Windows XP Professional Service Pack 3以降
  - Windows Vista Home Basic(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Home Premium(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Business(32ビット/64ビット)
  - Windows Vista Ultimate(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Starter(32ビット)
  - Windows 7 Home Premium(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Professional(32ビット/64ビット)
  - Windows 7 Ultimate(32ビット/64ビット)
  - Mac OS X 10.5~10.6(Intel)

※Mac OS X 10.6は32ビット/64ビットとなります。

※対応OSはすべて日本語版となります。

- メモリ:
  - Windows XP: 推奨512MB以上 256MB以上必要
  - Windows Vista: 推奨1GB以上 512MB以上必要
  - Windows 7: 1GB以上必要(32ビット) 2GB以上必要(64ビット)
  - Mac OS X: 推奨512MB以上 256MB以上必要
- ハードディスク: 推奨200MB以上 100MB以上の空き容量が必要

上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客さまがご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。

お願い パソコンに対するサポートやOSのバージョンアップなどのサービスに関するお問い合わせは、各マニュアルをお読みの上、各メーカーの定める手順に従ってください。

## ご利用いただくにあたって

- 本製品はイー・モバイルの提供するサービスエリア、および国際ローミングのサービスエリアにおいてご利用になれます。This product can be used in the coverage that EMOBILE offers and the coverage of the International roaming.
- サービスエリア内であっても、屋内や電車の中、トンネル、地下、ピルの陰、山間部など電波の伝わりにくいところでは、通信ができない場合があります。また地域的に電波の伝わりにくい場所もありますので、あらかじめご了承ください。



この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

## 表示記号の説明

 <b>危険</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 <b>警告</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

## 図記号の説明

 <b>禁止</b>	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 <b>分解禁止</b>	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 <b>濡れ手禁止</b>	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 <b>水漏れ禁止</b>	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 <b>風呂、シャワー室での使用禁止</b>	本製品を風呂、シャワー室で使用すると漏電による感電や発火のおそれがあるので、風呂、シャワー室で使用してはいけないことを示しています。
 <b>指示</b>	本製品の取り扱いにおける指示事項(必ず実行していただくこと)を示しています。
 <b>電源プラグを必ずコンセントから抜く</b>	本製品が動作するパソコンの電源プラグを必ずコンセントから抜いていただくことを示しています。

具体的な内容は図記号とともに文章で示します。

# 安全上のご注意



## 危険

	分解、改造をしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。なお本製品の改造は電波法違反になります。
	強い日光や熱風が直接当たる所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用、放置はしないでください。 発熱、発火、本製品の変形、変色や故障の原因となります。 また本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。
	濡れた手で触らないでください。 感電や故障の原因となります。
 	浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。 液体がこぼれて濡れると、感電、発熱、故障の原因となります。
	水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 発熱、発火、破裂、故障、本人や他の人のけがの原因となります。



## 警告

	電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。
	ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。
	煙が出ている、変な臭いをするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。煙や臭いが出なくなったことを確認してお問い合わせ先(64ページ)にご連絡ください。
	内部に水が入った場合には、すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。すぐに本製品をパソコンから取り外し、パソコンの電源を切ってからお問い合わせ先(64ページ)などにご連絡ください。
	落雷のおそれがあるときは、パソコンの電源を切り、電源プラグを抜いてください。 落雷、感電、発火の原因となります。また屋外の場合は安全な場所へ移動してください。

	長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。
	必ず専用の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。
	車両の運転中に本製品を使用しないでください。 交通事故の原因となります。車両を安全な場所に止めてからご使用ください。
	航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。
	高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。 電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。 ※影響を受けるおそれがある機器の例： ・心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。 ・心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売業者にご相談ください。

以下に記載する4項目は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」(電波環境協議会／平成9年4月)に準拠しています。

	植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。
	満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、パソコンの電源を切り、本製品の使用を控えてください。 電波の影響で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤作動することがあります。
	医療機関の屋内では以下のことを守って使用してください。 ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。 ・病棟内では、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切り、本製品を使用しないでください。 ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
	自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。 電波の影響で、電子機器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

# 安全上のご注意



## 注意

-  小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。  
EM chipを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
-  お子さまが使用するときには、取り扱いに問題がないことを保護者が確認してください。  
EM chipを飲み込む、感電するなどの事故やけがの原因となります。
-  自動車の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。  
自動車が安全に走行できなくなるおそれがあります。
-  ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
落下して、けがや故障の原因となります。
-  本製品、EM chipに無理な力を加えないでください。  
故障、けがの原因となります。
-  人が密集している場所では、使用しないでください。  
けがをするおそれがあります。
-  EM chipを本製品へ取り付けるときや取り外すときに注意してください。  
必要以上の力を掛けると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。
-  皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用を止め、医師の診断を受けてください。  
お客さまの体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じる場合があります。

本製品に使用されている材料や表面処理は以下に記載のとおりです。

	使用箇所	使用材料・表面処理
製品本体	本体	PC1414
	ねじ	スチールニッケルメッキ
	USBコネクタ	スチールニッケルメッキ
	ラベル	3M7815

## EM chip (USIMカード)に関する注意事項



### 警告



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。  
EM chipを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。



### 注意



EM chipを本製品へ取り付けるときや取り外すときに注意してください。  
必要以上の力を掛けると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。



落としたり、濡らしたり、重い物の下敷きにししないでください。  
変形するなど、故障の原因となります。



他社製品のICカードリーダーなどにEM chipを取り付けしないでください。  
故障の原因となります。故障した場合、お客さまの責任となり、当社では一切の責任を負いません。



EM chipの金属部を傷つけたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失や故障の原因となります。



EM chipは本来の用途以外の方法で使用しないでください。  
データの消失や故障の原因となります。



電子レンジなどの加熱調理機器や高压容器に入れしないでください。  
発熱、発火や故障の原因となります。



火のそばやストーブのそばなど高温の場所で使用したり放置しないでください。  
変形や溶解、データ消失などの故障の原因となります。



水や飲料水、ペットの尿など高温の場所で濡らさないでください。  
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

## USB端子／microSDカードスロットに関する注意事項



### 注意



USBコネクタやmicroSDカードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。  
故障や記録内容の消失の原因となります。端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。



microSDカードを取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。microSDカードを装着しているカードスロットを顔のほうに向けて、取り付けたり、取り外したりしないでください。  
急に指を離すと、カードが飛び出して危険です。

# 取扱上のご注意

本表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、もしくは機能停止を招く内容を示していますので、必ずお守りください。



## 注意

	水濡れさせないでください。 本製品は防水仕様ではありません。浴室や加湿器のそばといった多湿環境や、雨が降りかかる環境下では使用しないでください。また洗濯機で洗わないでください。故障の原因が水濡れであると判明した場合、保証の対象外となります。
	エアコン吹出口の近くなどで使用しないでください。 温度が急激に変化することにより結露が発生して、故障の原因となります。
	湿った衣類のポケットに入れて持ち運ばないでください。 衣類のポケットにこもる汗などの湿気が故障の原因となります。
	次のような極端な温度環境での使用は避けてください。 ・直射日光の当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなど、特に温度が上がる場所。 ・冷蔵倉庫など、特に温度が下がる場所。
	テレビ、ラジオ、携帯電話機など電磁波が発生する物の近くで使用しないでください。 お互いに影響を受ける場合がありますので、なるべく離れて使用してください。
	落としたり強い衝撃を与えたり曲げたりしないでください。 落としたり、かばんの中で重い物の下敷きにするなど、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。この場合、保証の対象外となります。
	移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。 パソコンに取り付けたまま持ち運びをすると、コネクタなどに誤って衝撃が掛かり、故障の原因となります。
	ほこりや湿気が多い場所に保管しないでください。 故障の原因となります。
	使用しないときは、端子が汚れないように保管してください。 ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、パソコンと接続できないことがあります。
	汚れたり水滴が付いたりしたときは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。 アルコール、ベンジン、シンナーなどの薬品や、化学雑巾、洗剤などを用いると、外装や印刷が変質することがあります。
	使用中に本製品が温かくなることがありますが手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。 そのままお使いください。ただし長時間触れたまま使用していると低温やけどになるおそれがあります。
	本製品をパソコンに取り付けるときは、正しい方向に無理なく取り付けてください。 逆方向に取り付けたり、違和感がある状態で取り付けると、破損や故障の原因となります。
	パソコンの電池残量が不足していないことを確認して使用してください。 電池が不足していると動作が不安定になります。充電するなどして使用してください。
	クレジットカードなどと本製品を近づけないでください。 クレジットカードなどの磁気カードのデータが消失するおそれがあります。



EM chipは当社指定のものを使用してください。  
指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。



EM chipの金属端子部分は汚さないでください。  
故障の原因となります。汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。

## お願い

当社では動作環境を満たすメーカー出荷状態のパソコンに対して、正常に動作することを確認しています。しかし周辺機器の増設やインストールされているアプリケーションの固有の設定などの影響により、本製品が正常に動作しない可能性があります。お客さまの環境で必ず正常動作することを保証するものではありません。

## 免責事項について

- 火災および地震などの災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（記録内容の変化・消失、通信などの機会を逃したために生じた損害、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与していない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

# 目次

はじめに	1
動作環境(対応OS)	1
ご利用いただくにあたって	1
取扱説明書の使いかた	2
安全上のご注意	3
取扱上のご注意	8
目次	10
1    ご利用になる前に	11
梱包品を確認してください	12
各部の名称と機能	13
EM chip (USIMカード)を準備してください	14
microSDカードを準備してください	16
2    セットアップ(Windowsパソコンへ)	17
Windowsパソコンに本製品を取り付ける	18
Windowsパソコンへのセットアップ	19
Windowsパソコンから本製品を取り外す	27
3    Windowsユーティリティ操作ガイド	29
EMOBILE HW ユーティリティの概要	30
パケット通信に関する設定	32
パケット通信を開始する	34
接続記録	35
関連設定および情報確認	36
ユーティリティ設定	38
ネットワーク設定	39
取扱説明書を参照する	40
4    セットアップ(Macへ)	41
Macに本製品を取り付ける	42
Macへのセットアップ	43
Macから本製品を取り外す	47
5    Macユーティリティ操作ガイド	48
EMOBILE HW ユーティリティの概要	49
パケット通信に関する設定	50
パケット通信を開始する	52
関連設定および情報確認	53
ユーティリティ設定	55
ネットワーク設定	56
取扱説明書を参照する	56
6    故障と思われる前に	57
7    付録	62
主な仕様	63
保証とアフターサービス	64

# 1 ご利用になる前に

梱包品を確認してください	12
各部の名称と機能	13
本体の名称と機能	13
LEDステータスランプ表示の見かた	13
EM chip (USIMカード)を準備してください	14
EM chipの取り付けかた	15
EM chipの取り外しかた	15
microSDカードを準備してください	16
microSDカードの取り付けかた	16
microSDカードの取り外しかた	16

# 1 ご利用になる前に

## 梱包品を確認してください

お買い上げいただいた商品には次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足している場合には、お問い合わせ先にご連絡ください。

### ● 本体



GD01本体

### ● 付属品



かんたんセットアップ  
マニュアル(別冊)



保証書(1部)

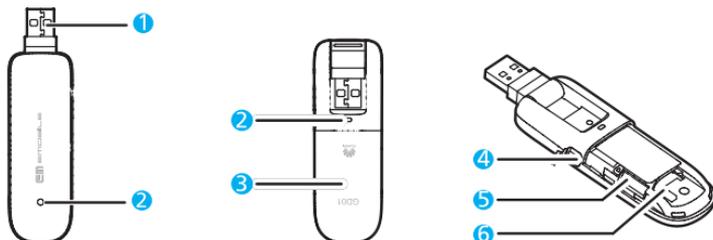


ご利用いただくにあたって(1部)

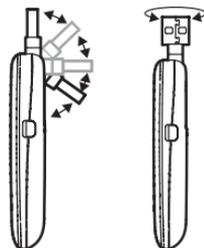
お願い 保証書を含め付属品は大切に保管してください。

## 各部の名称と機能

### 本体の名称と機能



- ① USBコネクタ: パソコンのUSBポートに接続します。USBコネクタは、右図のように回転させることができます。
- ② LEDステータスランプ: 本製品の状態を示します。
- ③ カバー: EM chipとmicroSDカードを保護するためのカバーです。
- ④ 外部アンテナコネクタ: 外部アンテナを取り付ける場所です。(対応機器はございません)
- ⑤ microSDカードスロット: microSDカードを取り付ける箇所です。
- ⑥ EM chipスロット: EM chipを取り付ける箇所です。



### LEDステータスランプ表示の見かた

本製品では、通信状態、異常状態などの情報をLEDの点灯によってお知らせします。

LED色および1秒間における変化	通信状態/異常状態
赤点滅(同じ間隔で点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本製品が起動中です</li> <li>・ EM chipが未挿入です</li> <li>・ EM chipが完全ロック状態です</li> <li>・ EM chipが正常に読み取れません</li> </ul>
赤点滅(短い点灯、長い消灯)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネットワークを検索中です</li> <li>・ ネットワークに登録中です</li> </ul>
赤点灯	圏外
橙点滅(同じ間隔で点滅)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PINコード入力待ち</li> <li>・ PUKコード入力待ち</li> </ul>
青点滅(短い点灯、長い消灯)	待機状態(通信中、発信中以外の状態で、かつ圏内)
青点滅(同じ間隔で点滅)	ダイヤルアップ中
青点灯	ダイヤルアップ成功、安定した通信状態です

# 1 ご利用になる前に

## EM chip (USIMカード) を準備してください

本製品をご利用になるお客さまに貸与されているICカードのことをEM chip (エムチップ) といい、お客さまの電話番号などの情報が記録されています。本製品を使用するためにはEM chip を本製品に取り付けてください。EM chip を取り付けていない本製品をパソコンに取り付けても、データ通信は一切できません。EM chip 台紙に記載されている取扱説明も参照してください。

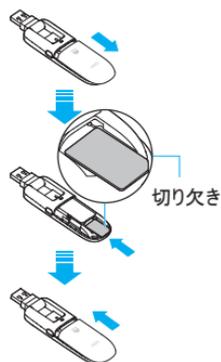
また使用中にEM chip を取り外すと本製品が正常に動作しなくなりますので、本製品をパソコンに接続した状態では絶対に取り外さないでください。万一、EM chip を取り外してしまった場合には、次の操作を行ってください。

1. ユーティリティを閉じます。
2. 本製品をパソコンから取り外します。
3. 本製品のカバーを取り外します。
4. EM chip を挿入します。
5. カバーを本製品に取り付けます。
6. 本製品をパソコンに再接続します。

**注意** 本製品をパソコンに取り付けた後にEM chip を取り付けても正常に動作しません。必ず、本製品をパソコンに取り付ける前にEM chip を取り付けてください。

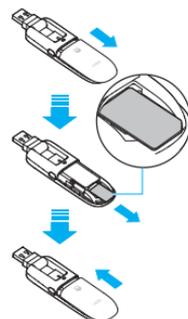
## EM chipの取り付けかた

1. 本製品のカバーを、矢印の方向にスライドしてから取り外します。
2. EM chipのIC部分を下にして、矢印の方向にEM chipを挿入します。
3. EM chipが奥まで挿入されていることを確認してから、カバーを矢印の方向にスライドして取り付けます。



## EM chipの取り外しかた

1. 本製品のカバーを、矢印の方向にスライドしてから取り外します。
2. EM chipを矢印の方向に取り外します。
3. カバーを矢印の方向にスライドして取り付けます。



### 注意

- IC部分には触れないよう、取り扱いにご注意ください。
- EM chipを本製品へ取り付けるときや取り外すときに注意してください。必要以上の力を掛けると、手や指を傷つけたり、EM chipの破損の原因となります。
- EM chipの紛失や、小さいお子さまがEM chipを誤って飲み込まないよう注意してください。
- EM chipの金属端子部分が汚れたときは柔らかい布などで拭き取ってください。

# 1 ご利用になる前に

## microSDカードを準備してください

本製品では、メモリ容量が最大2GBのmicroSDカードと、最大32GBのmicroSDHCカード(以降あわせてmicroSDカードと表記)に対応していますが、市販されているすべてのmicroSDカードの動作を保証するものではありません。

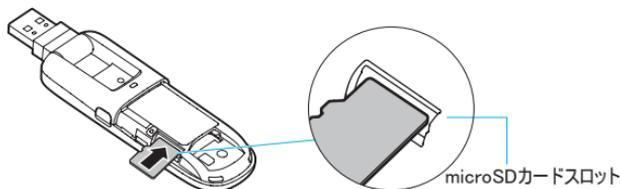
microSDカードを使用する前に、本製品に取付けてください。

また使用中に、microSDカードを取り外さないでください。microSDカード内に保存されているデータが破損したり、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。万一、microSDカードを取り外してしまった場合には、次の操作を行ってください。

1. ユーティリティを閉じます。
2. 本製品をパソコンから取り外します。
3. microSDカードを挿入します。
4. 本製品にパソコンを再接続します。

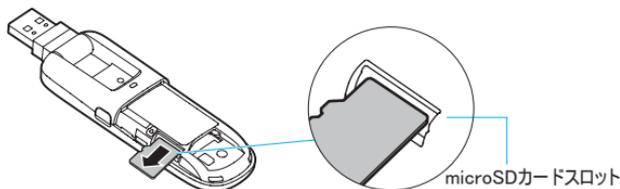
### microSDカードの取り付けかた

1. 本製品のカバーを取り外します。
2. 金属端子を上に向けて、microSDカードを挿入します。



### microSDカードの取り外しかた

1. 本製品のカバーを取り外します。
2. microSDカードを奥に押し込み、矢印の方向に出てきたmicroSDカードを取り外します。



#### 注意

- microSDカードは無理に取り付けようとしないでください。破損することがあります。また、取り出したmicroSDカードは紛失しないよう、ご注意ください。
- microSDカードを取り出すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また取り付けるときは、カードがカチッと音がするまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。
- microSDカードを装着しているカードスロットを顔のほうに向けて、取り付けたり、取り外したりしないでください。急に指を離すと、カードが飛び出して危険です。

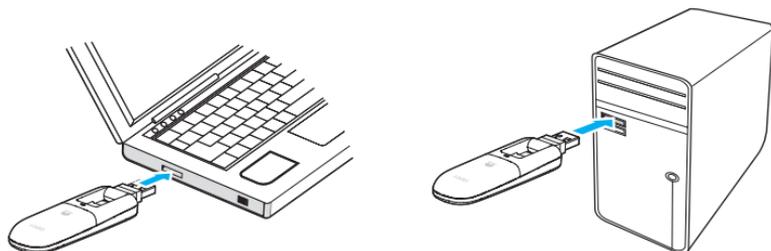
## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

Windowsパソコンに本製品を取り付ける .....	18
Windowsパソコンへのセットアップ .....	19
ユーティリティをインストールする .....	19
インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows 7) .....	23
インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows Vista) .....	24
インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows XP) .....	25
ユーティリティをアンインストールする .....	26
Windowsパソコンから本製品を取り外す .....	27

## 2 セットアップ (Windows/パソコンへ)

### Windowsパソコンに本製品を取り付ける

EM chipを取り付けている本製品をパソコンのUSBポートに接続します。パソコンがデータ通信カード(本製品)を認識します。(パソコンが本製品を認識するまで45秒程度かかります。)



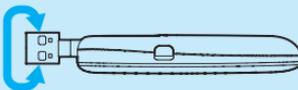
Windowsの場合では、システムからメッセージが表示されたら、本製品の接続完了となります。ユーティリティのインストールについては本書の19ページの「Windows/パソコンへのセットアップ」をご参照ください。

- 注意**
- 本製品を一部のパソコンに取り付けたときに、本製品とパソコンの間に隙間が生じる場合がありますが、接続に問題はありません。また、無理に力を加えて押し込もうとすると、本製品並びにパソコンが破損する恐れがありますのでご注意ください。
  - 本製品をパソコンに取り付けた状態でスリープ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープ(サスペンド/レジューム)、または休止(ハイバネーション)を行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動や電源を入ると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

- 説明**
- 本製品のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。また接続する機器の形状などに応じて、USBコネクタを回転することも可能です。
  - パソコンとの接続時は、本製品のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



- ※ 本製品をパソコンから取り外して持ち運ぶときは、USBコネクタを倒してください。
- ※ USBコネクタは左右に90度ずつ回転できます。無理に力を加えて90度以上回転させようとすると、本製品が破損する恐れがありますのでご注意ください。



## Windowsパソコンへのセットアップ

EMOBILE HW ユーティリティを使用してネットワークへの接続や設定を行うことができます。画面表示、手順はWindows 7を例としています。

### ユーティリティをインストールする

- 注意**
- ・ インストール中に、本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の60ページを参照してください。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本製品をパソコンに接続します。
3. 本製品にはユーティリティインストーラー、デバイスドライバが保存されており、初めてお使いの場合、最初にUSB大容量記憶デバイスがインストールされます。(本製品をパソコンに接続後45秒程度かかります。)その後ユーティリティインストーラーが起動し、本製品のデバイスドライバとユーティリティソフトが自動的にインストールされます。

- 説明**
- ・ 古いバージョンのユーティリティが既にインストールされている場合、アンインストールのメッセージが表示されます。その場合は古いバージョンのユーティリティをアンインストールしてからインストールを開始してください。
  - ・ インストール中にはタスクトレイに「デバイスドライバをインストールする」などのポップアップが表示される場合があります。

4. 「自動再生」の画面が表示されたら、「AutoRun.exeの実行」をクリックします。Windows XPの場合は、「自動再生」の画面は表示されません。



- 説明** 本製品に挿入されているmicroSDカードに画像や動画などが記録されているときは、上記の画面とは異なる画面が表示されることがあります。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

5. 「ユーザーアカウント制御」の注意画面が表示されたら、「はい」をクリックします。Windows Vistaの場合は、「許可」をクリックしてください。



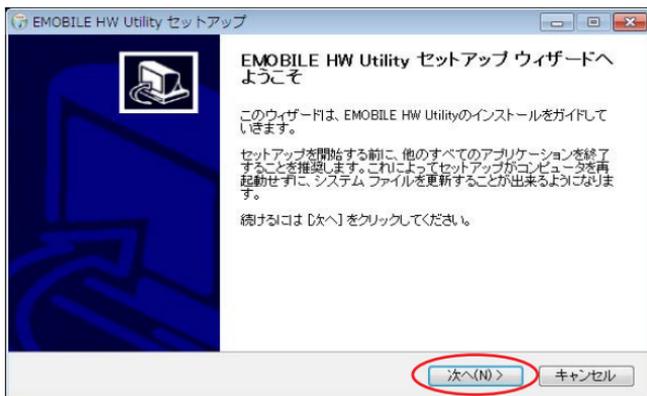
6. インストーラーが自動的に起動します。  
「Installer Language」の画面が表示されますので、「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をクリックします。



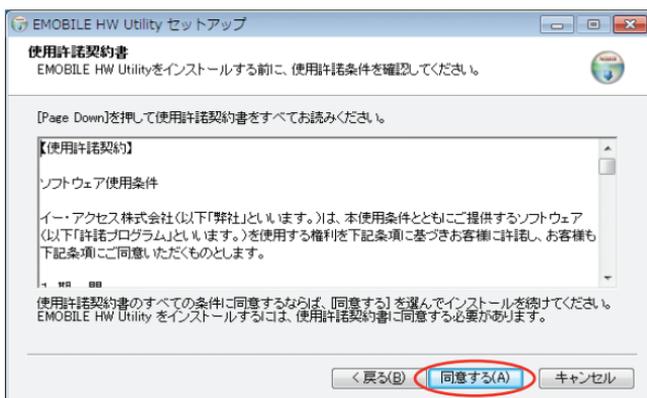
### 説明

- ・ 本製品の通信性能を最大限に活用するための通信設定の最適化を行っています。
- ・ 本製品をパソコンに接続してから、パソコンがデバイスを認識するまで45秒程度かかります。
- ・ インストーラーが自動的に起動しない場合は、本書の23、24、25ページを参照してください。

7. セットアップウィザードの画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



8. 「使用許諾契約書」の画面が表示されますので、契約内容を確認し、「使用許諾契約書」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



9. 「インストール先を選んでください。」の画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。

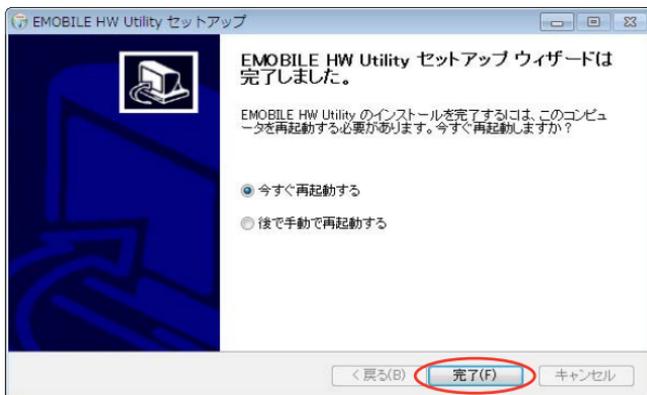


## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

10. 「スタートメニュー フォルダを選んでください。」の画面が表示されますので、スタートメニューを設定し、「インストール」をクリックします。その後、インストールが始まりますので、手順11の画面が出るまでお待ちください。



11. 次の画面が表示されますので、「完了」をクリックします。



**注意** パソコンを再起動しないとインストールが完了しません。必ず再起動してください。

12. デスクトップにEMOBILE HW Utilityのショートカットアイコンが表示されたら、インストール完了です。

## インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows 7)

ご利用中のパソコンの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

※まず、Windowsパソコンの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。

1. 「スタート」メニューから「コンピューター」をクリックします。
2. 「EMOBILE UTILITY」をダブルクリックします。



3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」をクリックします。



4. 「Installer Language」の画面が表示されますので、「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をクリックします。



5. 「EMOBILE HW Utility セットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、以降は本書の20ページからを参照してください。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows Vista)

ご利用中のパソコンの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

※まず、Windowsパソコンの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。

1. 「スタート」メニューから「コンピュータ」をクリックします。
2. 「EMOBILE UTILITY」をダブルクリックします。



3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「続行」をクリックします。



4. 「Installer Language」の画面が表示されますので、「Japanese(日本語)」を選択して「OK」をクリックします。



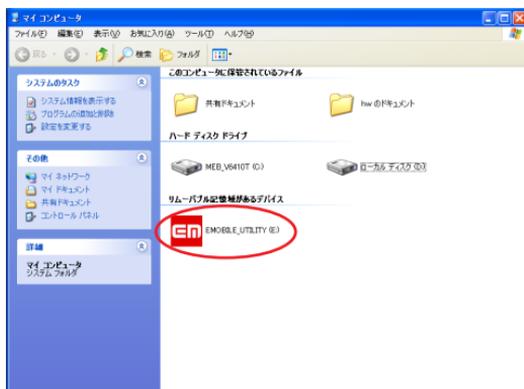
5. 「EMOBILE HW Utility セットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、以降は本書の20ページからを参照してください。

## インストーラーが自動的に起動しない場合 (Windows XP)

ご利用中のパソコンの環境によってはインストールが自動的に開始されないことがあります。その場合は、下記の手順にてインストールしてください。

※まず、Windowsパソコンの電源を入れ、本製品を接続した状態にしてください。

1. 「スタート」メニューから「マイ コンピュータ」をクリックします。
2. 「EMOBILE UTILITY」をダブルクリックします。



3. 「Installer Language」の画面が表示されますので、「Japanese (日本語)」を選択して「OK」をクリックします。

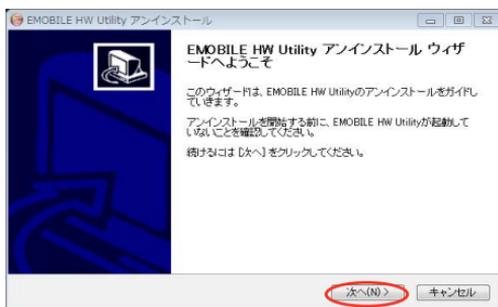


4. 「EMOBILE HW Utility セットアップウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、以降は本書の20ページからを参照してください。

## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

### ユーティリティをアンインストールする

1. 「スタート」>「すべてのプログラム」>「EMOBILE HW Utility」>「Uninstall」の順で選択します。
2. 「ユーザーアカウント制御」の注意画面が表示されたら、「はい」をクリックします。Windows Vistaの場合は、「許可」をクリックしてください。
3. アンインストールウィザードの画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



4. 「アンインストール」をクリックします。その後、アンインストールが始まりますので、手順5の画面が出るまでお待ちください。



5. アンインストール完了後、次の画面が表示されますので、「完了」をクリックすると、アンインストールが完了します。

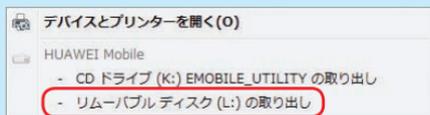


## Windowsパソコンから本製品を取り外す

**注意** 本製品を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本製品を取り外さないでください。

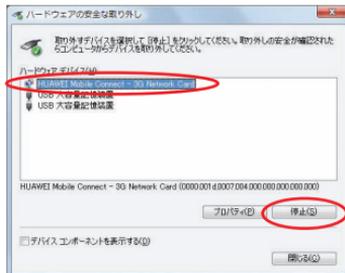
Windows 7をお使いの場合は、ユーティリティを終了していることを確認し、本製品を取り外してください。

**説明** microSDカードが取り付けられている場合は、タスクトレイの  をクリックし、「リムーバブル ディスクの取り出し」をクリックします。安全に取り外し可能なことが表示されたら、本製品を取り外してください。



Windows Vista/Windows XPをお使いの場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」機能でデバイスの動作を停止させてから、本製品をパソコンから取り外します。次の操作を参照して取り外してください。

1. タスクトレイの  をダブルクリックします。  
Windows XPをお使いの場合は、タスクトレイの  をダブルクリックしてください。「ハードウェアの安全な取り外し」の画面が表示されます。
2. 「HUAWEI Mobile Connect - 3G Network Card」を選択して、「停止」をクリックします。



## 2 セットアップ (Windowsパソコンへ)

3. 「ハードウェアデバイスの停止」の画面が表示されますので、「OK」をクリックし、ポップアップ画面またはタスクトレイに、安全に取り外し可能なことが表示されることを確認します。

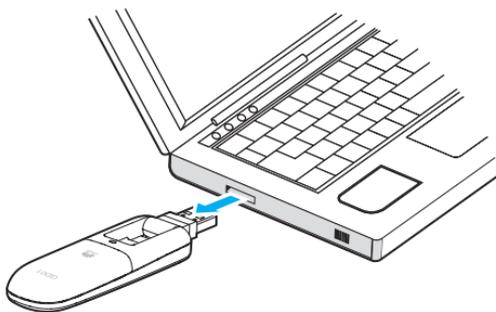


「ハードウェアの安全な取り外し」の画面に戻ります。

4. 残りの2つの「USB大容量記憶装置」についても手順2~3の操作を行います。
5. 安全に取り外し可能なことが表示されることを確認してから、本製品を取り外します。

28

- 注意
- ・ 本製品の特性上、「ハードウェアデバイスの停止」を実行しても本体のLEDが点滅することがありますが、そのまま取り外して問題ありません。
  - ・ パソコンから本製品を無理に取り外そうとしたりUSBコネクタを引っ張ると、故障の原因となります。



## 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

EMOBILE HW ユーティリティの概要	30
EMOBILE HW ユーティリティの起動	30
各接続先について	30
EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面	31
電波状態アイコンの説明	31
パケット通信に関する設定	32
プロフィールを新規作成する	33
プロフィールを編集する	33
プロフィールを削除する	33
パケット通信を開始する	34
接続記録	35
通信履歴	35
通信集計情報を見る	35
関連設定および情報確認	36
言語の選択	36
PIN関連操作	36
デバイス情報を確認する	38
電話番号を確認する	38
ユーティリティ設定	38
起動設定および接続モードの設定	38
ネットワーク設定	39
周波数を選択する	39
ネットワークを選択する	40
取扱説明書を参照する	40

### 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

## EMOBILE HW ユーティリティの概要

### EMOBILE HW ユーティリティの起動

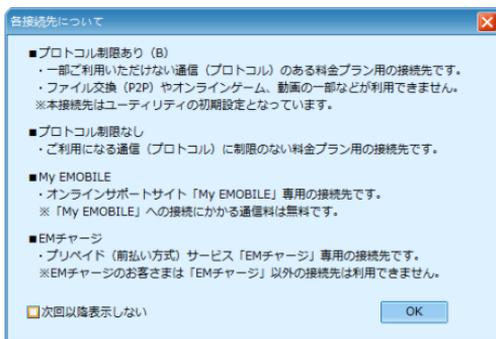
EMOBILE HW ユーティリティを起動するには、デスクトップ上にあるEMOBILE HW Utilityの  (ショートカットアイコン)をダブルクリックしてください。

また、Windows 7、Windows Vistaをお使いの場合、本製品接続後、「自動再生」の画面が表示されることがありますが、「AutoRun.exeの実行」をクリックするとユーティリティが起動します。

Windows XPをお使いの場合、本製品をパソコンに接続すると自動的にEMOBILE HW ユーティリティが起動します。

### 各接続先について

下記画面が表示されますので、内容をご確認の上「OK」をクリックします。次回以降、本画面を表示させない場合は、「次回以降表示しない」にチェックを入れてください。(メイン画面より、「ツール」>「オプション」>「ユーティリティ設定」からも設定の変更が可能です。本書の38ページを参照してください。)



## EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面



- ① EMOBILE HW ユーティリティメニュー  
「ツール」と「ヘルプ」があります。「ツール」からは、プルダウンリストより詳細設定を行えます。「ヘルプ」からは、取扱説明書が参照できます。
- ② 接続  
接続の画面を開きます。
- ③ 通信履歴  
通信履歴情報を表示します。
- ④ 設定  
各種設定を行うオプション画面を表示します。
- ⑤ 状態表示  
電波状態とネットワークの名称を表示します。
- ⑥ 接続先  
ダイヤルアップ接続先 (APN) を表示します。お買い上げ時は、「プロトコル制限あり(B)」が登録されています。
- ⑦ 接続/切断  
ダイヤルアップ接続、あるいは切断します。
- ⑧ 接続時間  
接続時間を表示します。接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。
- ⑨ 送受信データ量  
ダイヤルアップ接続中の送受信データ量の合計を表示します。

## 電波状態アイコンの説明

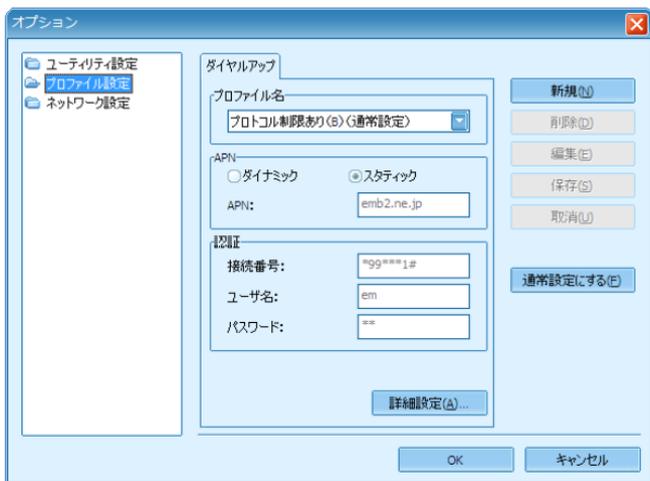
アイコン	状態
	電波状態: 圏外
	電波状態: 微弱
	電波状態: 弱
	電波状態: 中
	電波状態: 強

### 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

#### パケット通信に関する設定

パケット通信を行うためには、ダイヤルアッププロファイルが設定されていることが必要です。プロフィールを表示するには、以下の2通りの手順があります。

- メイン画面より、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「プロフィール設定」をクリックします。
-  をクリックし、「設定」をクリックします。



EMOBILE HW ユーティリティにはあらかじめ4つのプロフィール(接続先)<sup>※1</sup>が設定されています。「プロフィール名」のプルダウンリストをご利用になるプロフィールに切り替えて、「通常設定にする」をクリックしてください。(メイン画面でも接続先の変更は可能ですが、本操作を行わない場合、次回以降のユーティリティ起動時に元の設定にもどります。)

※1 これらの4つのプロフィールは削除・編集できません。

プロトコル制限あり(B)	データプランBなど、一部ご利用いただけない通信(プロトコル)のある料金プラン用の接続先です。ファイル交換(P2P)やオンラインゲーム、動画の一部などが利用できません。 ※本接続先はユーティリティの初期設定となっています。
プロトコル制限なし	データプラン、スーパーライトデータプランなど、ご利用になる通信(プロトコル)に制限のない料金プラン用の接続先です。
My EMOBILE	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。 ※「My EMOBILE」への接続にかかる通信料は無料です。
EMチャージ	プリペイド(前払い方式)サービス「EMチャージ」専用の接続先です。 ※EMチャージのお客さまは「EMチャージ」以外の接続先は利用できません。

## プロフィールを新規作成する

1. 右上の「新規」ボタンをクリックすると、次の表示に変わります。



2. プロファイル名、APN、ユーザー名とパスワードを設定します。(ご使用のサービスプロバイダより正確な値を入手してください。また、接続番号は「\*99\*\*\*1#」を使用し、変更しないでください。)

**説明** 必要に応じ、「詳細設定」をクリックして、IP設定、認証プロトコル設定、DNS設定とWINS設定に関する情報を設定することができます。「OK」をクリックし、詳細設定を保存するとダイヤルアップ設定画面に戻ります。

3. 「保存」をクリックし、すべてのダイヤルアップ接続先の設定を保存します。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

## プロフィールを編集する

1. 「ダイヤルアップ」タブの「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを1つ選択してください。
2. 「編集」をクリックし、設定情報を変更します。
3. 「保存」をクリックし、上記の設定を保存します。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

## プロフィールを削除する

1. 「ダイヤルアップ」タブの「プロフィール名」のプルダウンリストから、プロフィールを1つ選択してください。
2. 「削除」をクリックすると、確認のためのダイアログボックスが表示されます。
3. 「Yes」をクリックすると、選択したプロフィールを削除し、「No」をクリックすると選択したプロフィールを削除しません。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

### 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

#### パケット通信を開始する

1.  をクリックすると、接続の画面が表示されます。
2. 「接続」をクリックすると接続を開始します。



34

ダイヤルアップ接続中に本画面にて、現在の接続に関する接続時間、送受信データ量などの情報を見ることができます。

「切断」をクリックすると接続を終了します。



## 接続記録

**注意** 接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。

### 通信履歴



をクリックすると、通信履歴が表示されます。

接続先	開始日時	終了日時	接続時間	送信データ量	受信データ量
My EMOBILE	2011/04/27 10:43:10	2011/04/27 10:44:07	00:00:57	8,544	10,913
My EMOBILE	2011/04/27 10:44:51	2011/04/27 10:45:33	00:00:42	7,658	9,236
プロトコル判...	2011/04/27 10:45:51	2011/04/27 10:47:12	00:01:21	8,031	7,869

**説明** 3ヶ月経過した通信履歴は、自動的に削除されます。

### 通信集計情報を見る

接続先設定: 全ての接続先

月別選択: 当月

データ統計

送信データ量:	24,233 Bytes
受信データ量:	28,018 Bytes
接続時間:	00:03:00

OK

1. 「通信履歴」の画面で、「通信集計情報」をクリックします。
2. 「接続先設定」のプルダウンリストから、確認したい接続先を選択します。
3. 「月別選択」のプルダウンリストから、「先々月」、「先月」、「当月」の中から確認したい月を選択します。
4. 選択した条件でのデータ統計の情報が表示されます。

**注意** 本履歴は目安であり、実際の送受信データとは異なる可能性があります。

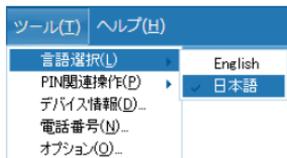
# 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

## 関連設定および情報確認

### 言語の選択

EMOBILE HW ユーティリティは日本語と英語の表示ができます。

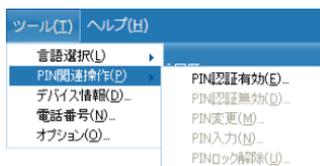
メイン画面より、「ツール」>「言語選択」をクリックすることで、言語を指定します。



### PIN関連操作

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザが EM chip を利用することを防ぐために使われるコードです。PIN 認証有効、PIN 認証無効、PIN 変更などを設定できます。

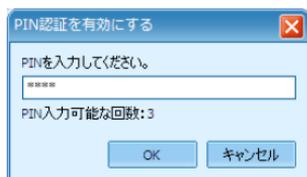
お買い上げ時の EM chip は、「PIN 認証なし」、PIN コード「9999」に設定されています。



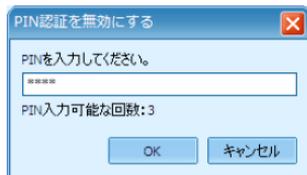
#### ● PINコード認証を有効/無効にする

PINコードの認証を有効・無効にすることができます。有効にすると、本製品を起動するときにPINコード認証を要求されます。

・ PINコード認証を有効にするには  
メイン画面より、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN認証有効」の順に選択すると、PIN入力画面が表示されます。正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。



・ PINコード認証を無効にするには  
メイン画面より、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN認証無効」の順に選択すると、PIN入力画面が表示されます。正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。



#### ● PINコードを変更する

1. メイン画面より、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN変更」の順で、選択します。
2. 「PIN変更」の画面が表示されたら、現在のPINコードと新しいPINコードを入力してください。
3. 新しいPINコードをもう一度入力して確認します。
4. 「OK」をクリックすると、変更が完了します。

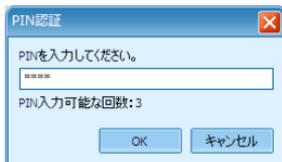


- 注意
- ・ PINコードは4～8桁の数字のみ許容されます。お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
  - ・ PINコード認証が有効に設定されていないと、PINコードは変更できません。

## ● PINコードを入力する

PINコード認証を有効に設定すると、本製品を使用するために、正しいPINコードを入力する必要があります。

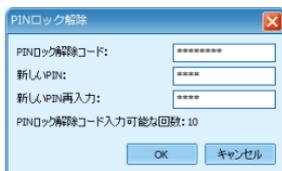
1. 本製品をパソコンに接続し、EMOBILE HW ユーティリティを起動すると、PIN入力の画面が表示されます。
2. PINコードを正しく入力します。
3. 「OK」をクリックすると、認証が完了します。



- 注意
- PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード(PUKコード)が必要になります。PINロック解除コード(PUKコード)についてはお問い合わせ先にご連絡ください。またPINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は、新しいEM chipが必要となります。手続きにつきましてはお問い合わせ先にご連絡ください。また、所定の手数料が発生する場合があります。

## ● PINロックを解除する

1. EM chipがロックされた場合、PINロック解除の画面が表示されます。
2. PINロック解除コード(PUKコード)を正しく入力してください。
3. 新たなPINコードを設定してください。
4. 「OK」をクリックすると、変更が完了します。

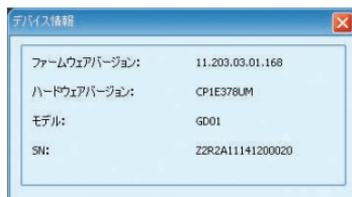


Windows 7の場合は、管理者権限でログインして、デスクトップ上にあるEMOBILE HW Utilityの (ショートカットアイコン)を右クリックし、「管理者として実行」を選択してEMOBILE HW ユーティリティを起動したうえで上記操作を行ってください。

## 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

### デバイス情報を確認する

メイン画面より、「ツール」>「デバイス情報」をクリックすると、本製品のデバイス情報を確認することができます。



説明 デバイス情報は現在使用中の端末に関する情報です。(実際の表示は異なる場合があります。)

### 電話番号を確認する

メイン画面より、「ツール」>「電話番号」をクリックすると、電話番号を確認することができます。

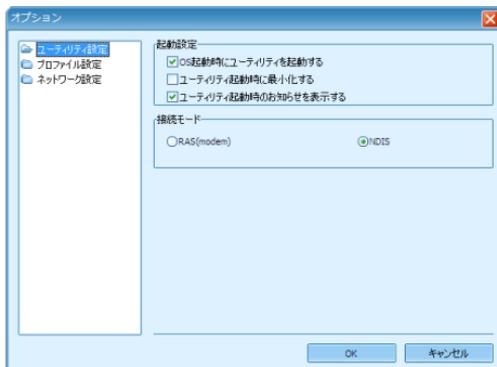


説明 電話番号はお使いのEM chipにより異なります。

## ユーティリティ設定

メイン画面より、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ユーティリティ設定」をクリックします。

### 起動設定および接続モードの設定



## ● 起動設定

ユーティリティ起動時の動作について、次の3つのモードが選択できます。

1. メイン画面より、「ツール」>「オプション」をクリックします。
2. ナビゲーションツリーの「ユーティリティ設定」をクリックします。
3. 以下の3つの項目を選択できます。
  - ・「OS起動時にユーティリティを起動する」を選択すると、OSが起動すると同時にEMOBILE HW ユーティリティが立ち上がります。
  - ・「ユーティリティ起動時に最小化する」を選択すると、EMOBILE HW ユーティリティ起動時にタスクトレイ表示されます。（最小化された状態で起動します。）
  - ・「ユーティリティ起動時のお知らせを表示する」を選択すると、EMOBILE HWユーティリティ起動時に「各接続先について」の画面が表示されます。
4. 「OK」をクリックすると、設定が完了します。

## ● 接続モード

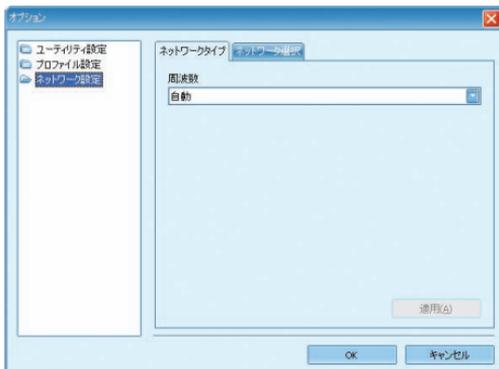
通常は、NDISに設定してご使用ください。

# ネットワーク設定

メイン画面より、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ネットワーク設定」をクリックします。

### 周波数を選択する

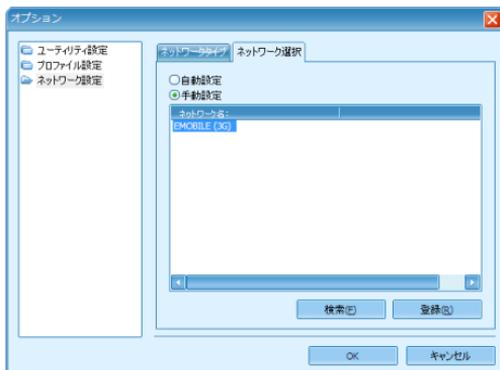
1. 「ネットワークタイプ」タブをクリックし、「周波数」を選択できます。
  - ・「自動」を選ぶと、自動的に周波数を選択して接続します。通常、ご利用になる場合は「自動」に設定してください。
  - ・「WCDMA1700」、「WCDMA2100」を選ぶと、選択した周波数で接続します。
2. 「適用」を押すと設定されます。



### 3 Windowsユーティリティ操作ガイド

#### ネットワークを選択する

1. 「ネットワーク選択」タブをクリックします。
2. 「自動設定」または「手動設定」を選択します。
  - ・ 「自動設定」を選択すると、本製品が自動的にネットワークの検索と登録を行います。通常ご利用になる場合は、「自動設定」を選択してください。
  - ・ 「手動設定」を選択した場合、「検索」をクリックするとネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを1つ選んで「登録」をクリックすると登録が完了します。



#### 取扱説明書を参照する

メイン画面より、「ヘルプ」>「ヘルプ」をクリックすることで、取扱説明書を参照できます。  
※参照にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Readerが必要です。

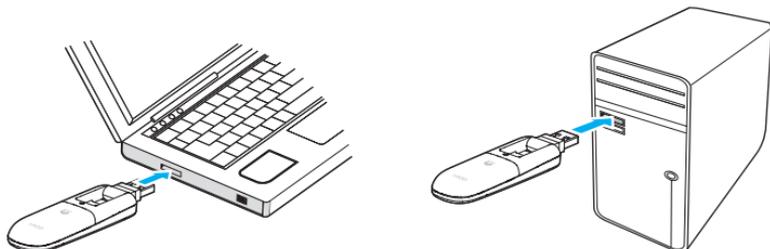
## 4 セットアップ (Macへ)

Macに本製品を取り付ける .....	42
Macへのセットアップ .....	43
ユーティリティをインストールする .....	43
インストーラーが自動的に起動しない場合 .....	45
ユーティリティをアンインストールする .....	45
Macから本製品を取り外す .....	47

## 4 セットアップ (Macへ)

### Macに本製品を取り付ける

EM chipを取り付けている本製品をパソコンのUSBポートに接続します。パソコンがデータ通信カード (本製品) を認識します。(パソコンが本製品を認識するまで45秒程度かかります。)



本製品とMacとの接続が完了すると「EMOBILEUTILITY」フォルダが自動的に表示されます。ユーティリティのインストールについては次の「Macへのセットアップ」をご参照ください。

#### 注意

- ・ 本製品を一部のパソコンに取り付けるときに、本製品とパソコンの間に隙間が生じる場合がありますが、接続には問題はありません。また、無理に力を加えて押し込もうとすると、本製品並びにパソコンが破損する恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 本製品をパソコンに取り付けた状態でスリープを行うと、正常に動作しない場合があります。必ず本製品を取り外してから、スリープを行ってください。また、本製品を取り付けた状態で、再起動や電源を入れると正常に動作しない場合があります。この場合、パソコンを起動する前に本製品を取り外してください。

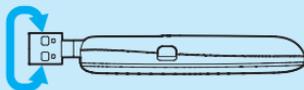
#### 説明

- ・ 本製品のUSBコネクタは、起こしたり倒したりできます。また接続する機器の形状などに応じて、USBコネクタを回転することも可能です。
- ・ パソコンとの接続時は、本製品のUSBコネクタを矢印の方向に起こします。



※ 本製品をパソコンから取り外して持ち運ぶときは、USBコネクタを倒してください。

※ USBコネクタは左右に90度ずつ回転できます。無理に力を加えて90度以上回転させようとすると、本製品が破損する恐れがありますのでご注意ください。



# Macへのセットアップ

## ユーティリティをインストールする

EMOBILE HW ユーティリティを使用してネットワークへの接続や設定を行うことができます。画面表示、手順はMac OS X 10.6を例としています。

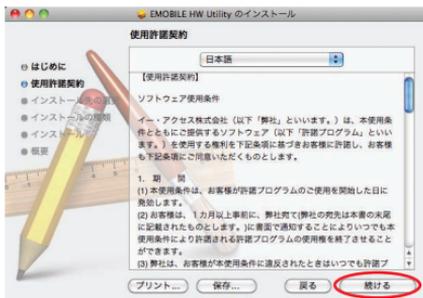
- 注意**
- ・ インストール中に、本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、または、システムがダウンしたり、そのほかの異常を起こしたりするおそれがあります。
  - ・ 管理者権限 (Administrator) でログインしてください。管理者権限の確認方法は本書の60ページを参照してください。

1. パソコンの電源を入れ、OSを起動します。
2. 本製品をパソコンに接続します。  
デスクトップに  アイコンが表示され、「EMOBILE\_UTILITY」フォルダが自動的に開きます。
3. 「EMOBILE HW Utility」をダブルクリックすると、インストールが始まり、次の画面が表示されます。「続ける」をクリックします。

- 説明**
- ・ ご利用のパソコンに本製品以外の「EMOBILE HW ユーティリティ」がインストールされている場合は、ご利用されていた製品の取扱説明書を参照してアンインストールを実施してからインストールしてください。
  - ・ 本製品の最新のユーティリティのみがインストールされていることをご確認の上ご利用ください。

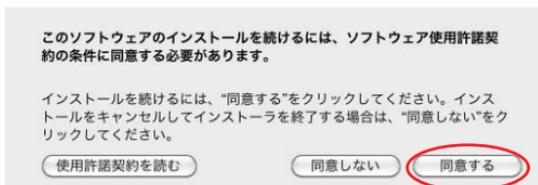


4. 「使用許諾契約」の画面が表示されますので、契約内容を確認し、「続ける」をクリックします。



## 4 セットアップ (Macへ)

5. 「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



「インストール先の選択」の画面が表示された場合は、インストール先を選択して、「続ける」をクリックします。

6. 「Macintosh HD」に標準インストールの画面が開きますので、「インストール」をクリックします。



説明 「Macintosh HD」はお使いになっているハードディスクの名称です。お客さまによって、表示される名称は異なります。

7. 「パスワード入力」の画面が表示されますので、お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



8. インストールが始まります。

9. 次の画面が表示されたら、「再起動」をクリックします。



パソコンを再起動したら、インストール完了です。

## インストーラーが自動的に起動しない場合

「EMOBILE\_UTILITY」フォルダが自動的に開かない場合は下記の手順にてお試しください。

1.  をクリックして、Finderの画面を表示させます。
2. 「デバイス」>「EMOBILE\_UTILITY」をクリックします。
3. 「EMOBILE HW Utility」をダブルクリックします。

45

## ユーティリティをアンインストールする

### 注意

- ・ アンインストールは、本製品をパソコンに接続してから行ってください。
- ・ アンインストール中に、本製品を取り外さないでください。アンインストールが正常に行われない、または、システムがダウンしたり、その他の異常を起こしたりするおそれがあります。

1. 本製品をパソコンに接続します。
2. ユーティリティが起動している場合は、閉じます。
3. 「EMOBILE\_UTILITY」フォルダ内の「EMOBILE HW Utility アンインストール」をダブルクリックします。
4. 次の画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



## 4 セットアップ (Macへ)

5. 「パスワード入力」の画面が表示されますので、お使いのMacの名前(ユーザ名)とパスワードを入力して、「OK」をクリックします。



6. 次の画面が表示されたら、「OK」をクリックします。



以上で、アンインストール完了です。

## Macから本製品を取り外す

**注意** 本製品を取り外す前に、ユーティリティを終了させてください。データ通信中は本製品を取り外さないでください。

本製品をパソコンに接続した場合の取り外しは、次の方法で行ってください。無理に取り外すと、故障の原因となります。

1.  をクリックして、Finderの画面を表示させます。
2. Finderのデバイス画面で「EMOBILE\_UTILITY」の取り出しアイコン(  )をクリックします。

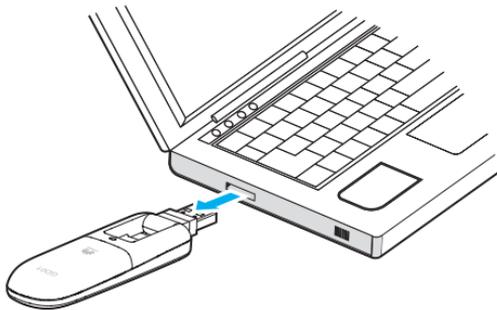


**注意** microSD カードをお使いの場合は、先にカードの取り出しアイコン(  )をクリックしてから「EMOBILE\_UTILITY」の取り出しアイコン(  )をクリックして取り出してください。

3. パソコンから本製品を取り外します。

**注意**

- ・ Finderの画面で上記アイコンが表示されない場合は、ユーティリティを終了していることを確認してから、本製品をパソコンから取り外してください。
- ・ パソコンから本製品を無理に取り外そうとしたりUSBコネクタを持って引っ張ると、故障の原因となります。



## 5 Macユーティリティ操作ガイド

EMOBILE HW ユーティリティの概要	49
各接続先について	49
EMOBILE HW ユーティリティのメニューバー	49
EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面	50
パケット通信に関する設定	50
プロフィールを新規作成する	51
プロフィールを編集する	51
プロフィールを削除する	51
パケット通信を開始する	52
関連設定および情報確認	53
言語の選択	53
PIN関連操作	53
デバイス情報を確認する	55
電話番号を確認する	55
ユーティリティ設定	55
起動設定および接続モードの設定	55
ネットワーク設定	56
周波数を選択する	56
ネットワークを選択する	56
取扱説明書を参照する	56

## EMOBILE HW ユーティリティの概要

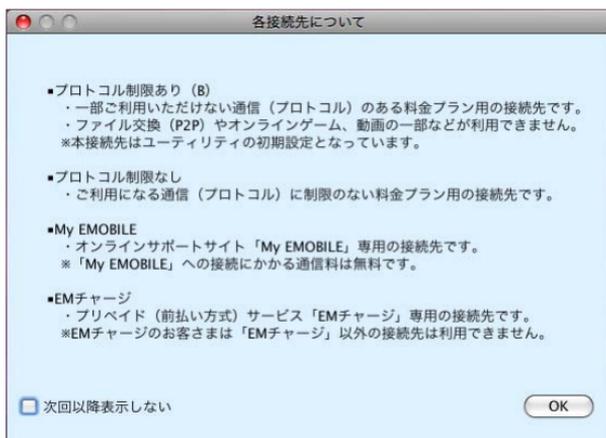
本体をパソコンに接続してください。自動的にEMOBILE HW ユーティリティが起動します。

### 説明

- ・ EMOBILE HW ユーティリティが自動的に起動しない場合は、「Macintosh HD」>「アプリケーション」>「EMOBILE HW Utility」をダブルクリックし、EMOBILE HW ユーティリティを起動させます。
- ・ 「Macintosh HD」はお使いになっているハードディスクの名称です。お客さまによって、表示される名称は異なります。

## 各接続先について

下記画面が表示されますので、内容をご確認の上「OK」をクリックします。次回以降、本画面を表示させない場合は、「次回以降表示しない」にチェックを入れてください。（メニューバーより、「ツール」>「オプション」>「ユーティリティ設定」からも設定の変更が可能です。本書の55ページを参照してください。）



## EMOBILE HW ユーティリティのメニューバー

「ツール」と「ヘルプ」があります。「ツール」からは、プルダウンリストより詳細設定を行えます。「ヘルプ」からは、取扱説明書が参照できます。メニューバーに「EMOBILE HW Utility」の文字がでない場合は、ユーティリティのメイン画面を一度クリックしてください。



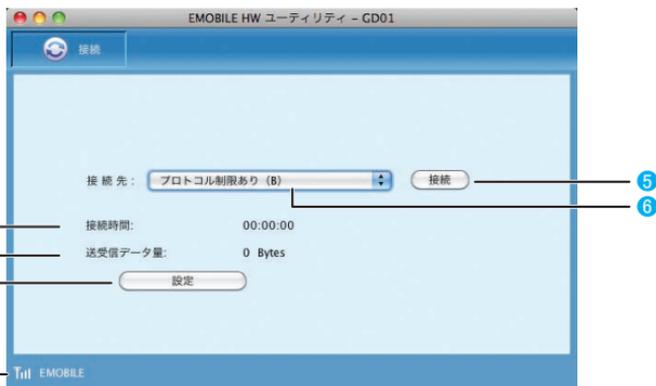
EMOBILE HW Utility

ツール

ヘルプ

# 5 Macユーティリティ操作ガイド

## EMOBILE HW ユーティリティのメイン画面



- 1 接続時間**  
接続時間を表示します。  
接続中にパソコンの設定時刻を変更すると、接続時間が正しく表示されない場合があります。
- 2 送受信データ量**  
ダイヤルアップ接続中の送受信データ量の合計を表示します。
- 3 設定**  
各種設定を行うオプション画面を表示します。
- 4 状態表示**  
電波状態とネットワークの名称を表示します。  
電波状態アイコンの説明は本書の31ページを参照してください。
- 5 接続/切断**  
ダイヤルアップ接続、あるいは切断します。
- 6 接続先**  
ダイヤルアップ接続先 (APN) を表示します。  
お買い上げ時は、「プロトコル制限あり (B)」が登録されています。

## パケット通信に関する設定

パケット通信を行うためには、ダイヤルアッププロファイルが設定されていることが必要です。メイン画面より、「設定」をクリックすると、次の画面が表示されます。



EMOBILE HW ユーティリティにはあらかじめ4つのプロファイル(接続先)<sup>※1</sup>が設定されています。「プロファイル名」のプルダウンリストをご利用になるプロファイルに切り替えて、「通常設定にする」をクリックしてください。(メイン画面でも接続先の変更は可能ですが、本操作を行わない場合、次回以降のユーティリティ起動時に元の設定にもどります。)

※1 これらの4つのプロファイルは削除・編集できません。

プロトコル制限あり(B)	データプランBなど、一部ご利用いただけない通信(プロトコル)のある料金プラン用の接続先です。ファイル交換(P2P)やオンラインゲーム、動画の一部などが利用できません。 ※本接続先はユーティリティの初期設定となっています。
プロトコル制限なし	データプラン、スーパーライトデータプランなど、ご利用になる通信(プロトコル)に制限のない料金プラン用の接続先です。
My EMOBILE	オンラインサポートサイト「My EMOBILE」専用の接続先です。 ※「My EMOBILE」への接続にかかる通信料は無料です。
EMチャージ	プリペイド(前払い方式)サービス「EMチャージ」専用の接続先です。 ※EMチャージのお客さまは「EMチャージ」以外の接続先は利用できません。

## プロファイルを新規作成する

1. 「新規」をクリックします。
2. プロファイル名、APN、ユーザ名、パスワードと認証プロトコル設定を設定します。(ご使用のサービスプロバイダより正確な値を入手してください。また、接続番号は「\*99\*\*\*1#」を使用し、変更しないでください。)
3. 「保存」をクリックし、すべてのダイヤルアップ接続先の設定を保存します。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

## プロファイルを編集する

1. 「ダイヤルアップ」タブの「プロファイル名」のプルダウンリストから、プロファイルを1つ選択してください。
2. 「編集」をクリックし、設定情報を変更します。
3. 「保存」をクリックし、再設定した情報を保存します。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

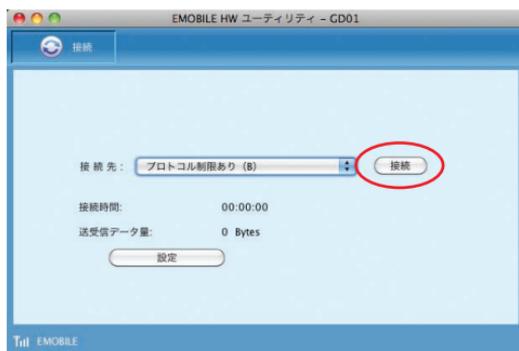
## プロファイルを削除する

1. 「ダイヤルアップ」タブの「プロファイル名」のプルダウンリストから、プロファイルを1つ選択してください。
2. 「削除」をクリックすると、確認のためのダイアログボックスが表示されます。
3. 「OK」をクリックすると、選択したプロファイルを削除し、「キャンセル」をクリックすると選択したプロファイルを削除しません。
4. 「OK」または「キャンセル」をクリックすると、ダイヤルアップ接続先の設定画面を終了します。

## 5 Macユーティリティ操作ガイド

### パケット通信を開始する

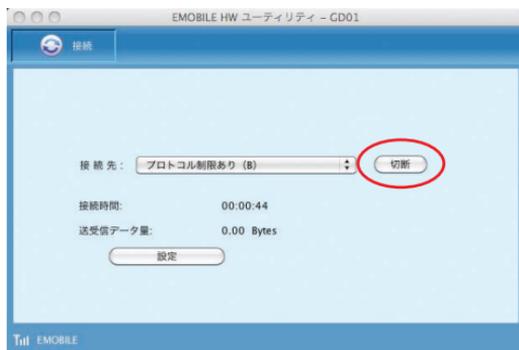
接続先からプロフィールを選択して、「接続」をクリックすると接続を開始します。



ダイヤルアップ接続中に本画面にて、現在の接続に関する送受信データ量、接続時間などの情報を見ることができます。

「切断」をクリックすると接続を終了します。

52



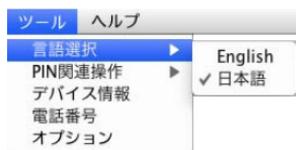
**注意** 本画面で表示される接続時間や送受信データ量は目安です。実際の状況とは異なる可能性があります。

## 関連設定および情報確認

### 言語の選択

EMOBILE HW ユーティリティは日本語と英語の表示ができます。

メニューバーより、「ツール」>「言語選択」をクリックすることで、言語を指定します。



### PIN関連操作

PIN (Personal Identification Number) は、不正ユーザが EM chip を利用することを防ぐために使われるコードです。PIN 認証有効、PIN 認証無効、PIN 変更などを設定できます。

お買い上げ時の EM chip は、「PIN 認証なし」、PIN コード「9999」に設定されています。



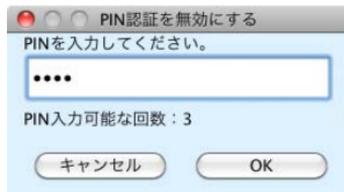
#### ● PINコード認証を有効/無効にする

PINコードの認証を有効にすることができます。有効にすると、本製品を起動するときにPINコード認証を要求されます。

・PINコード認証を有効にするには  
メニューバーより、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN認証有効」の順に選択すると、PIN入力画面が表示されます。正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。



・PINコード認証を無効にするには  
メニューバーより、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN認証無効」の順に選択すると、PIN入力画面が表示されます。正しいPINを入力し、「OK」をクリックします。



## 5 Macユーティリティ操作ガイド

### ● PINコードを変更する

1. メニューバーより、「ツール」>「PIN関連操作」>「PIN変更」の順で、選択します。
2. 「PIN変更」の画面が表示されたら、現在のPINコードと新しいPINコードを入力してください。
3. 新しいPINコードをもう一度入力して確認します。
4. 「OK」をクリックすると、変更が完了します。



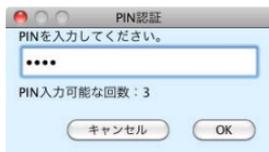
**注意**

- PINコードは4～8桁の数字のみ許容されます。お買い上げ時は、「9999」に設定されています。
- PINコード認証が有効に設定されていないと、PINコードは変更できません。

### ● PINコードを入力する

PINコード認証を有効に設定すると、本製品を使用するために、正しいPINコードを入力する必要があります。

1. 本製品をパソコンに接続し、EMOBILE HW ユーティリティを起動すると、PIN入力の画面が表示されます。
2. PINコードを正しく入力します。
3. 「OK」をクリックすると、認証が完了します。

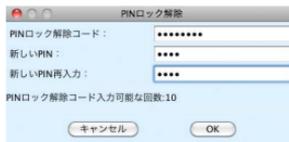


**注意**

PINコードを3回連続で間違えるとPINロック状態になります。その場合PINロック解除コード(PUKコード)が必要になります。PINロック解除コード(PUKコード)についてはお問い合わせ先にご連絡ください。またPINロック解除コード(PUKコード)を10回連続で間違えると、完全ロック状態となります。完全ロック状態となった場合は、新しいEM chipが必要となります。手続きにつきましてはお問い合わせ先にご連絡ください。また、所定の手数料が発生する場合があります。

### ● PINロックを解除する

1. EM chipがロックされた場合、PINロック解除の画面が表示されます。
2. PINロック解除コード(PUKコード)を正しく入力してください。
3. 新たなPINコードを設定してください。
4. 「OK」をクリックすると、変更が完了します。



## デバイス情報を確認する

メニューバーより、「ツール」>「デバイス情報」をクリックすると、本製品のデバイス情報を確認することができます。



説明 デバイス情報は現在使用中の端末に関する情報です。(実際の表示は異なる場合があります。)

## 電話番号を確認する

メニューバーより、「ツール」>「電話番号」をクリックすると、電話番号を確認することができます。



説明 電話番号はお使いのEM chipにより異なります。

## ユーティリティ設定

メニューバーより、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ユーティリティ設定」をクリックします。

## 起動設定および接続モードの設定



### ● 起動設定

1. メニューバーより、「ツール」>「オプション」をクリックします。
2. ナビゲーションツリーの「ユーティリティ設定」をクリックします。
3. 「ユーティリティ起動時のお知らせを表示する」を選択すると、EMOBILE HWユーティリティ起動時に「各接続先について」の画面が表示されます。

# 5 Macユーティリティ操作ガイド

## ● 接続モード

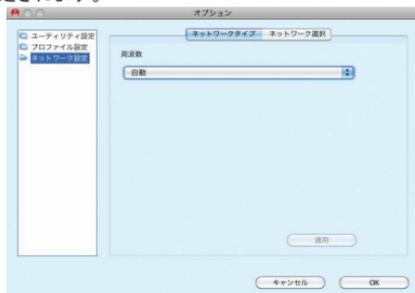
通常は、Ethernetに設定してください。

## ネットワーク設定

メニューバーより、「ツール」>「オプション」をクリックして、ナビゲーションツリー中の「ネットワーク設定」をクリックします。

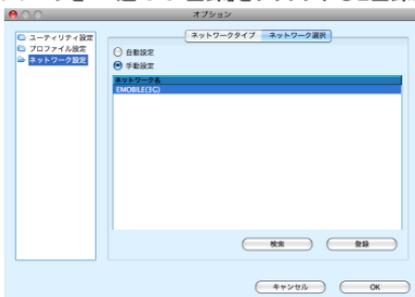
### 周波数を選択する

- 「ネットワークタイプ」タブをクリックし、「周波数」を選択できます。
  - 「自動」を選ぶと、自動的に周波数を選択して接続します。通常、ご利用になる場合は「自動」に設定してください。
  - 「WCDMA1700」、「WCDMA2100」を選ぶと、選択した周波数で接続します。
- 「適用」を押すと設定されます。



### ネットワークを選択する

- 「ネットワーク選択」タブをクリックします。
- 「自動設定」または「手動設定」を選択します。
  - 「自動設定」を選択すると、本製品が自動的にネットワークの検索と登録を行います。通常ご利用になる場合は「自動設定」を選択してください。
  - 「手動設定」を選択した場合、「検索」をクリックするとネットワークリストが表示されます。利用可能なネットワークを1つ選んで「登録」をクリックすると登録が完了します。



## 取扱説明書を参照する

メニューバーより、「ヘルプ」>「ヘルプ」をクリックすることで、取扱説明書を参照できます。  
※参照にはアドビシステムズ社が配布しているAdobe Readerが必要です。

## 6 故障と思われる前に

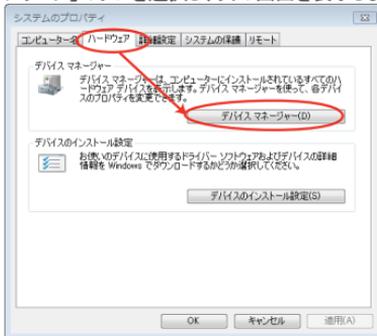
症状	参照ページ
1. パソコンが本製品を認識しない。	58
2. 本製品をパソコンに接続したにもかかわらず、インストーラーが自動的に起動しない。	59
3. インターネットへの接続が失敗した。	59
4. 通信がすぐに切れる。	59
5. 通信速度が遅く感じる。	60
6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chipが完全ロック状態である。	60
7. EM chipが認識されない。	60
8. 管理者権限(Administrator)でログインしているのか判らない。	60
9. エラーコード一覧	61

## 6 故障と思われる前に

### 1. パソコンが本製品を認識しない。

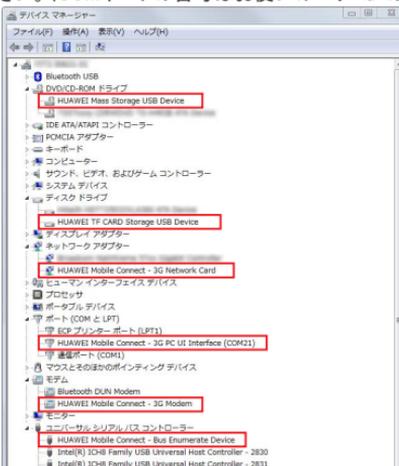
1. 本製品が正しくパソコンに接続されているかどうかを確認してください。
2. 本製品をパソコンから一度取り外し、パソコンを再起動してから、再度接続してください。Windowsの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。※画面はWindows 7を例としています。

1. 「コンピューター」(Windows 7の場合、Windows Vistaの場合は「コンピュータ」)を右クリックし、「プロパティ」を選択します。システム画面の左側にある「システムの詳細設定」をクリックして、「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら「はい」(Windows 7の場合、Windows Vistaの場合は「続行」)をクリックすると、「システムのプロパティ」の画面が表示されます。「ハードウェア」のタブを選択し、次の画面を表示します。



**説明** Windows XPをお使いの場合、「マイ コンピュータ」を右クリックし、「プロパティ」を選択します。「システムのプロパティ」の画面が表示されます。「ハードウェア」のタブを選択し、上の画面を表示します。

2. 「デバイスマネージャ」をクリックし、「HUAWEI Mass Storage USB Device」、「HUAWEI TF CARD Storage USB Device」、「HUAWEI Mobile Connect - 3G Network Card」、「HUAWEI Mobile Connect - 3G PC UI Interface (COMXX)」、「HUAWEI Mobile Connect - 3G Modem」、「HUAWEI Mobile Connect - Bus Enumerate Device」が表示されることを確認してください。(COMポートの番号はお使いのパソコンの環境によって異なります。)



Macの場合は、以下の手順で本製品が正しく取り付けられていることを確認してください。

1.  をクリックして、Finderの画面を表示させます。
2. 「場所」>「アプリケーション」をクリックします。
3. 「ユーティリティ」をダブルクリックします。
4.  ターミナルをダブルクリックし、ターミナルウィンドウを開きます。
5. 「ls /dev/tty.\*」のコマンドを入力します。「ls」と「/」の間にスペースをいれて、半角小文字で入力してください。
6. 次の情報が表示されることを確認してください。

```
/dev/tty.HUAWEIMobile-Modem  
/dev/tty.HUAWEIMobile-Pcui
```

## 2. 本製品をパソコンに接続したにもかかわらず、インストーラーが自動的に起動しない。

システムが新しいハードウェアを認識してから、インストール準備に時間がかかりますので、45秒程度お待ちください。

一定時間経過してもインストーラーが自動的に起動しない場合は、本製品を一度パソコンから取り外してから、再度接続してください。

なお自動起動しない場合は、本書の23、24、25ページ(Windows)、45ページ(Mac)を参照してください。

## 3. インターネットへの接続が失敗した。

サービスエリア内であることをご確認ください。

- 電波状態が良くないところであれば、電波状態が良いところへ移動して、もう一度インターネットに接続してください。
- 時間帯によって接続先が混雑していることもありますので、しばらくしてからもう一度インターネットに接続してください。

### ● Windowsの場合は、以下の手順でネットワークの関連設定を確認してください。

設定については本書の32ページ、33ページを参照してください。

1. ユーティリティのメイン画面より、 をクリックします。
2. 「設定」をクリックします。
3. ナビゲーションツリーの「プロファイル設定」をクリックし、各設定が正しく設定されていることを確認してください。

### ● Macの場合は、以下の手順でネットワークの関連設定を確認してください。

設定については本書の50ページ、51ページを参照してください。

1. ユーティリティのメイン画面より、「設定」をクリックします。
2. ナビゲーションツリーの「プロファイル設定」をクリックし、各設定が正しく設定されていることを確認してください。

## 4. 通信がすぐに切れる。

1. 本製品とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
2. 電波状態が良くない場合があります。電波状態が良いところで確認してください。
3. 本製品をパソコンから取り外してもう一度接続してください。
4. 上記の操作を行ってもなお接続できない場合、本製品を取り外してパソコンを再起動し、もう一度接続してください。

## 6 故障と思われる前に

### 5. 通信速度が遅く感じる。

電波状態が良くない場合があります。電波状態の良いところで確認してください。  
回線の状態が良くないことがあります。時間を置いて再度試してください。

### 6. PINコードを忘れた。PINロック解除コード(PUKコード)を知らない。EM chipが完全ロック状態である。

お問い合わせ先にご連絡ください。EM chipの再発行が必要になった場合、所定の手数料が発生する場合があります。

### 7. EM chipが認識されない。

1. EM chipが正しく取り付けられているかどうかをご確認ください。詳細は本書の15ページの「EM chipの取り付けかた」をご参照ください。
2. EM chipが変形していないことを確認してください。
3. EM chipの金属端子部分にキズや腐食がないことを確認してください。
4. EM chip(特に金属端子部分)が汚れると認識できない場合もありますので、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
5. 上記のすべてを確認・お試しいただいても改善しない場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。

### 8. 管理者権限(Administrator)でログインしているのが判らない。

#### ● Windows 7およびWindows Vistaの場合

1. 「スタート」>「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
2. 「ユーザーアカウントと家族のための安全設定」をクリックして、次の画面で「ユーザーアカウント」をクリックします。
3. 画面の右側に現在ログインしているユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「Administrator」であれば管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

#### ● Windows XPの場合(手順はクラシック表示を例としています。)

1. 「スタート」をクリックして、「スタート」メニューを表示します。
2. 「スタート」メニューの一番上に表示されているのが現在ログインしているユーザー名です。  
※「スタート」メニューの表示が、クラシック「スタート」メニューになっている場合は表示されません。「スタート」メニューを右クリックし、プロパティを表示して「スタート」メニューをチェックしてください。
3. 「スタート」>「コントロールパネル」をクリックして、「コントロールパネル」画面を表示します。
4. 「ユーザーアカウント」をクリックします。
5. 表示された画面の「ユーザー名」から、2.で調べたユーザー名〇〇〇を確認します。ユーザー名の下に「コンピュータの管理者」と表示されていれば、管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

#### ● Macの場合

1.  をクリックして、「システム環境設定…」を選択します。
2. 「システム環境設定…」の画面で、「システム」の「アカウント」をクリックします。
3. 画面の左側に現在ログインしている「マイアカウント」のユーザー名と、アカウントの種類が表示されています。アカウントの種類が「管理者」であれば管理者権限でログインしていますので、本製品をセットアップすることができます。

## 9. エラーコード一覧

エラーコード	対処方法
619	● 時間を変えて接続してください。
628	● 場所を変えて接続してください。 ● APN、ユーザ名、パスワードが正しく設定されているか確認してください。
633	● 接続中のときは、一度接続を切ってから、再度接続してください。 ● 本製品をパソコンから一度取り外してから、再度取り付けてください。 ● パソコンを再起動してください。 ● パソコンの電源管理ユーティリティの休止設定を確認してください。
680	● 本製品を一度アンインストールしてから、再度インストールしてください。
720	● 接続設定 (IPアドレスやDNSアドレス)を確認してください。 ● 再度TCP/IPプロトコルのインストールが必要です。 一般的なインストールの方法は以下の通りですが、詳細につきましてはパソコンの製造元・サポート提供元にご確認ください。 Windows XP : 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ip reset c:%resetlog.txtと入力する。 Windows 7およびWindows Vista : 1) 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ipv4 uninstallと入力する。 2) パソコンを再起動する。 3) 「スタート」 > 「ファイル名を指定して実行」をクリックし、 netsh int ipv4 installと入力する。
777	● 接続先の電話番号が間違っていないことを確認してください。 ● 接続先の電話番号を全角文字で入力しているときは、半角文字で入力してください。

説明 このエラーコードはWindowsで表示されるものです。OSによってエラーコードが異なることがあります。

## 7 付録

主な仕様 .....	63
保証とアフターサービス .....	64

## 主な仕様

製品名	GD01
外形寸法	86mm(D) × 28mm(W) × 14.8mm(H)
質量	約32g
インターフェイス	USB 2.0 High Speed microSDカード／microSDHCカード対応
消費電力	通信時最大: 約3.25W 通信時一般: 約2W 待機時: 約0.5W ※使用状況により消費電力は変化します。
環境条件	動作温度範囲: -10~+45°C 動作湿度範囲: 9%~95%(結露しないこと)
制御コマンド	Hayes標準ATコマンドに準拠
対応周波数	上り: 1749.9~1784.9MHz、1920~1980MHz 下り: 1844.9~1879.9MHz、2110~2170MHz
通信方式	W-CDMA/HSUPA/HSDPA/HSPA+/DC-HSDPA

## 保証とアフターサービス

### 【保証について】

- お買い上げいただくと、保証書がついています。
- 記載内容および「お買い上げ日・販売店」の記載事項をよくお確かめの上、大切に保管してください。
- お買い上げ日と販売店の記載が無い場合、あるいは納品書又は領収書等にてお買い上げ日および販売店が特定できる書類が無い場合、改ざんのある場合、保証を受けられませんので、ご注意ください。

### 【修理について】

- 修理を依頼される場合、本書をお読みになり、もう一度ご使用方法や設定状態をご確認ください。それでも改善復旧しない場合は、お問い合わせ先までご相談ください。
- 保証期間中の修理  
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間経過後の修理  
修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有償にて修理いたします。

### 【ご注意】

- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために発生した損害などについて当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登録されたデータやお客さまが独自に設定、インストールされたソフトが消去される(出荷時の初期状態となる)場合がありますので、ご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理を受付できませんのでご注意ください。

### 【補修用部品】

- 本製品および関連製品の補修用性能部品の最低保有期間は生産終了後6年間です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

## 【お問い合わせ先】

イー・モバイル カスタマーセンター

イー・モバイル携帯電話から: 157(無料)

一般電話から: 0120-736-157(無料)

※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。

海外から: +81368313333(有料)

受付時間 9:00~21:00(日本時間/年中無休)

※間違い電話が多くなっております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

※一部の光電話、IP電話等からはご利用いただけない場合があります。

ホームページ <http://emobile.jp/>



発売元：イー・アクセス株式会社  
(製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.)  
発行年月：2011年7月 第1版

